



# 2026年3月期 連結決算説明資料

2026年5月12日

東京証券取引所プライム市場

証券コード:6737

**EIZO株式会社**

## 注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2026年3月期は“25F”となります。

## 市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、ディフェンス、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121

# 1. 2026年3月期決算

## 2. 業績の見通し / 事業上のトピック

## 3. 参考資料

# 2026年3月期 決算概要

## 欧州において厳しい経済環境が継続 営業減益

### □ 売上高：813.0億円(前期比 +8.1億円)

- ヘルスケア市場向けは欧州、北米及び中国で販売が復調し、前期を上回る
- 主要地域の欧州経済低迷によりB&P及びクリエイティブワーク市場向け販売は低水準

### □ 営業利益：23.6億円(前期比 ▲13.4億円)

- 棚卸資産評価損：B&P市場向けで過剰在庫となっている旧製品等に対し約4.0億円計上
- 販売費及び一般管理費増加：  
賃上げの実施、新技術棟に係る費用計上、インド・中東における販売活動の拡充等による

### □ 親会社株主に帰属する当期純利益：73.2億円(前期比 +31.7億円)

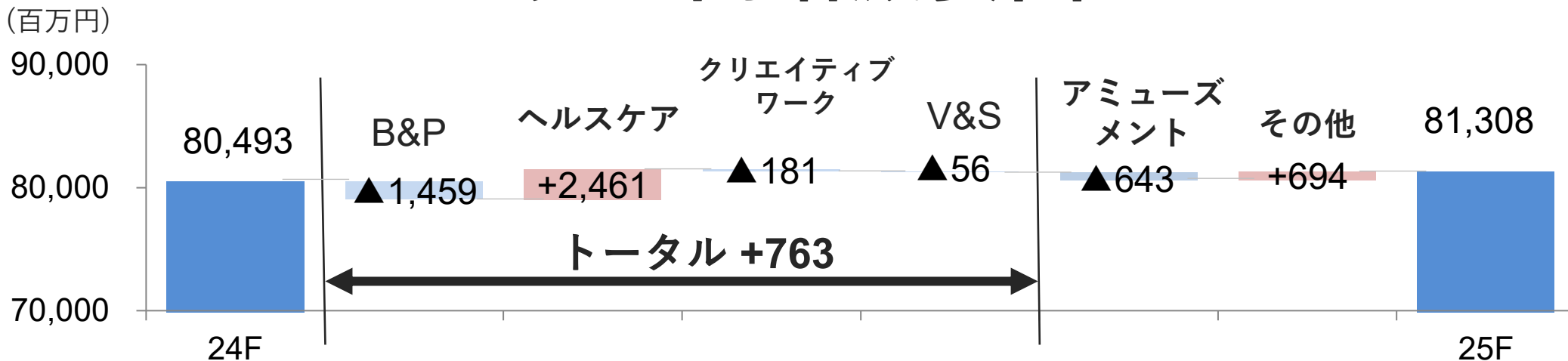
- 特別利益：今後の成長投資を見据えて政策保有株式及び純投資目的株式の一部売却を進め投資有価証券売却益 79.9億円計上(前期は11.0億円)
- 特別損失：欧州グループの機能/役割の再構築/合理化に向け事業構造改善費 4.4億円計上  
欧州の開発製造会社において固定資産の減損損失 4.9億円計上

# 連結損益計算書

(百万円)

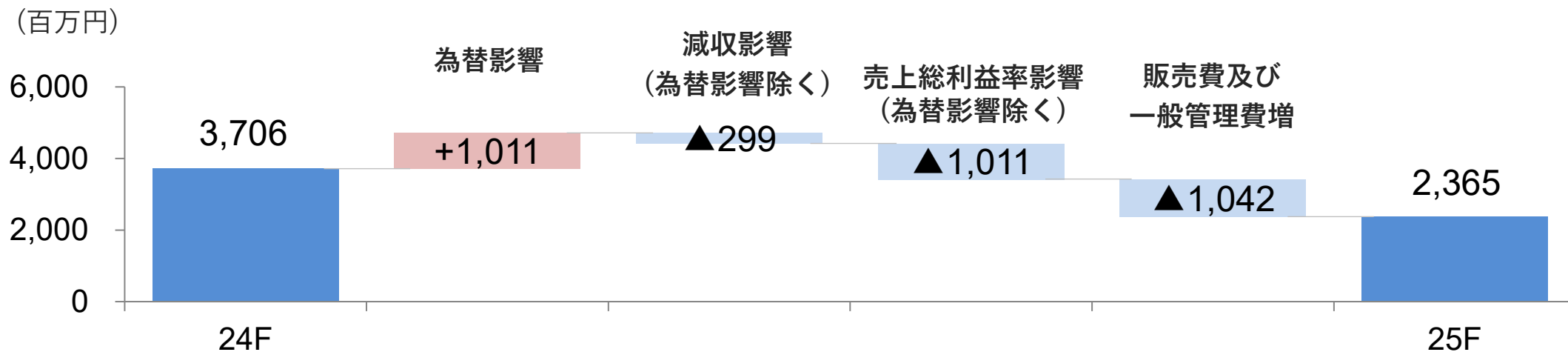
	24F	25F	前期比
売上高	80,493	81,308	101.0%
売上総利益	26,199	25,901	98.9%
売上総利益率	32.5%	31.9%	▲0.7pt
販売費及び一般管理費	22,493	23,535	104.6%
営業利益	3,706	2,365	63.8%
営業利益率	4.6%	2.9%	▲1.7pt
経常利益	4,555	3,772	82.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,148	7,323	176.5%
為替レート（年平均）:USD	152.62円	150.67円	▲1.95円
為替レート（年平均）:EUR	163.88円	174.64円	+10.76円

# 売上高増減要因



- **B&P**： 欧州経済停滞により依然として低調
- **ヘルスケア**： 診断用途向けは主要市場である欧州及び北米で販売が回復基調。  
内視鏡用途向けは欧州・中国で堅調に推移したことに加え、北米で販売が復調
- **クリエイティブワーク**： 欧州で需要回復が遅れており販売は低調
- **V&S**： 航空管制用途向けは複数の案件の販売が来期以降に後ろ倒しになり前期を下回る。  
船舶用途向けは新規造船需要を受けて引き続き好調で、全体では前期並みの販売
- **アミューズメント**： 業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続
- **その他**： アミューズメント用ソフトウェア受託開発等の売上高が増加

# 営業利益増減要因



□ 為替影響：

対ユーロで円安に推移したことによる

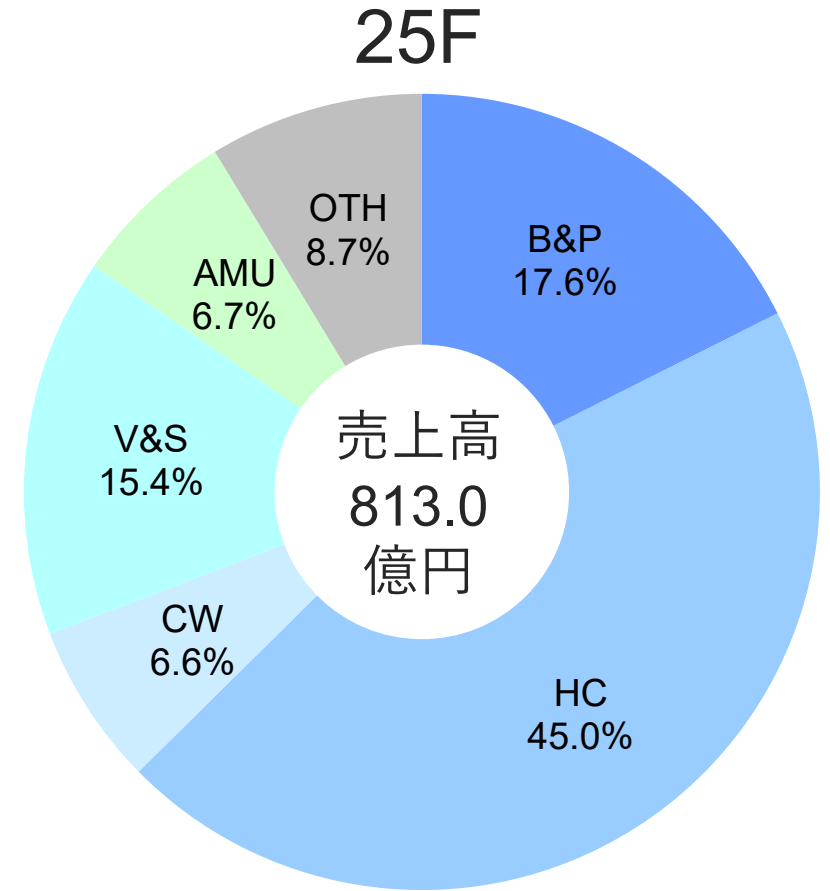
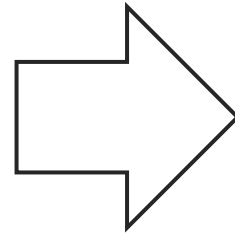
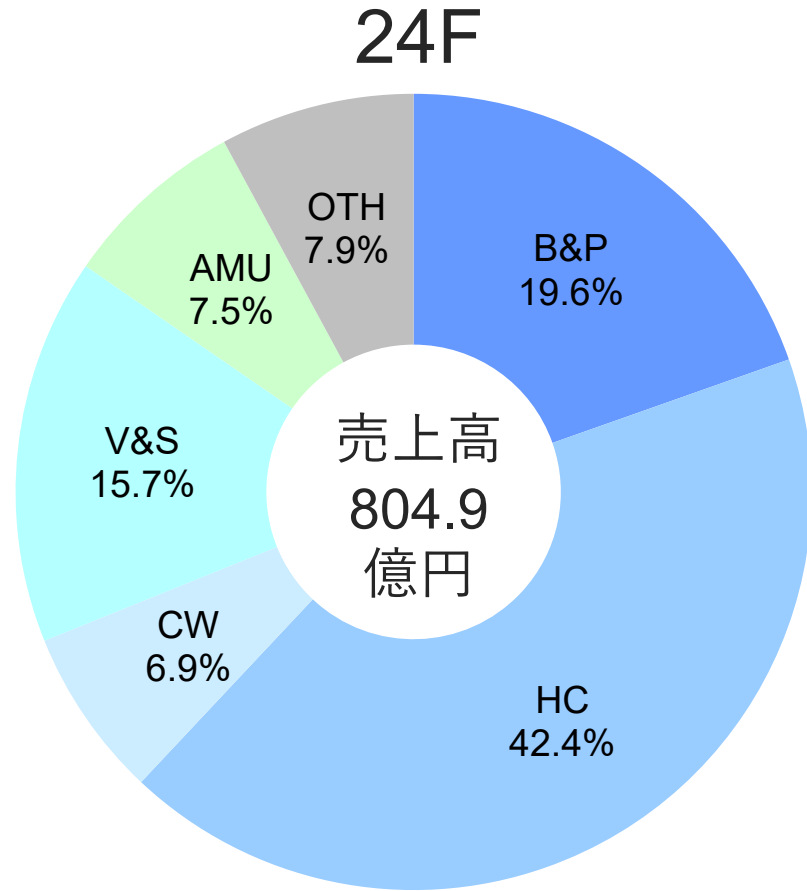
□ 売上総利益率の低下：

欧州市場の停滞に伴う販売減少により、  
B&P市場向けにて過剰在庫となっている  
旧製品等の棚卸資産評価損 約4.0億円を計上したことによる

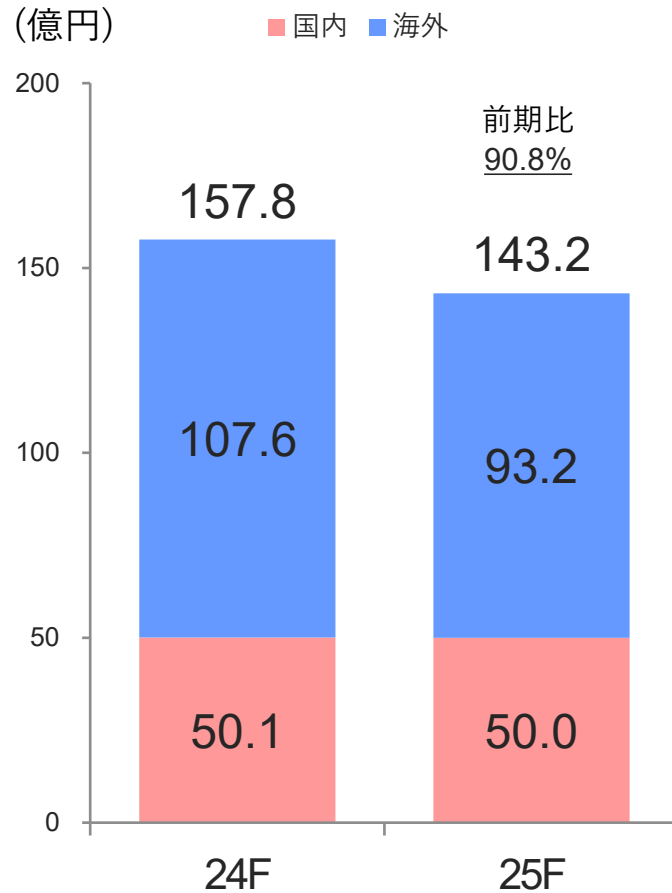
□ 販売費及び一般管理費の増加：

賃上げの実施、新技術棟に係る費用の計上、  
インド・中東における販売活動の拡充等による

# 市場別売上高構成比



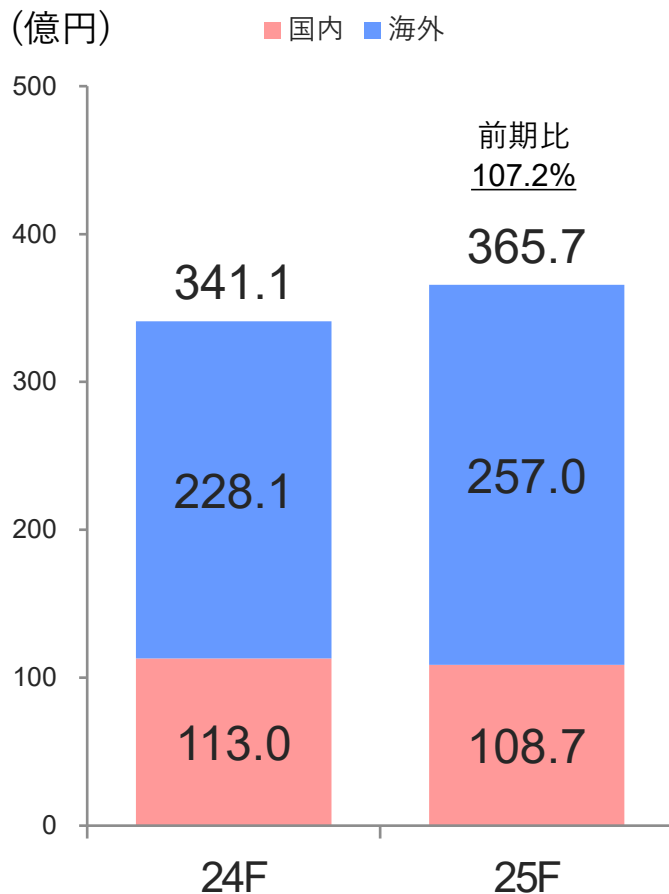
# 市場別売上高：B&P (Business & Plus)



- 主要市場である欧州において厳しい経済環境が継続。最も販売の多いドイツ市場ではモニターの販売が前期を下回る。かかる状況下、欧州で販売が低調
- 環境先進性や市場競争力を高めた新製品を販売。旧モデルからの切り替えが想定通りに進まず、新製品の効果は限定的
- 日本では販売は堅調に推移



# 市場別売上高：ヘルスケア



## 診断用途

- 主要市場である欧州及び北米での販売が回復基調となったことに加え、中東やインドで販売拡大し、前期を上回る。日本では医療機関の経営環境悪化の中、設備投資需要減少の影響があったものの、年度末需要を捉え前期並みの販売

## 手術室用途

- 日本で前期を下回る

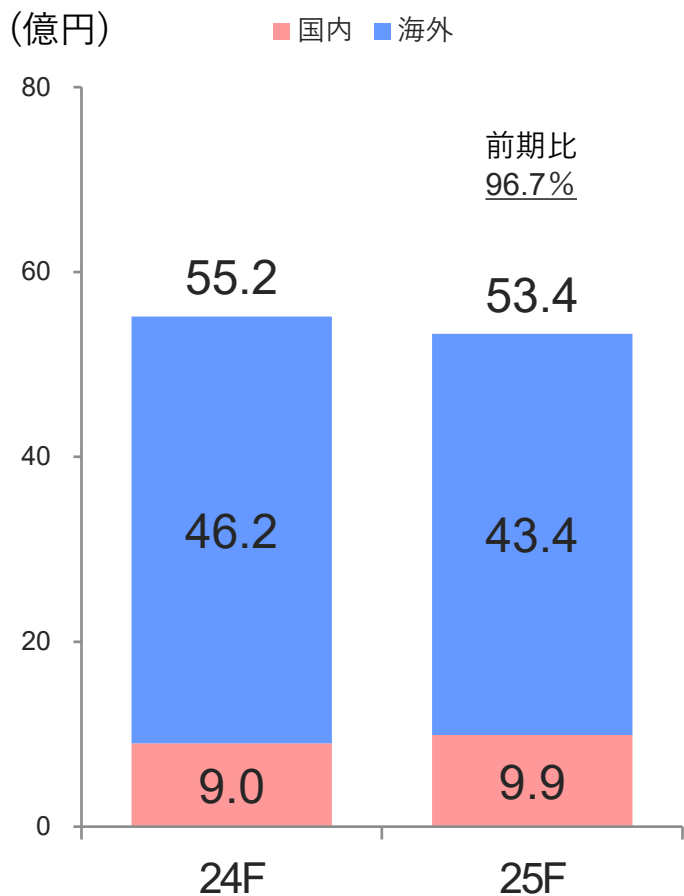
## 内視鏡用途

- 欧州及び中国で堅調に推移し、加えて北米でも販売が復調し、前期を上回る



RadiForce RX570

# 市場別売上高：クリエイティブワーク



- 北米及び日本では映像制作用途向けの販売が前期を上回る。  
しかし、欧州で需要回復が遅れており、販売は低調



ColorEdge®CG2400SV

# 市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)



## 航空管制

- 海外において欧州及び中国では販売が堅調に推移。複数の案件の導入時期が来期以降に後ろ倒しとなった影響により、売上高は前期を下回る

## 船舶

- 新規造船需要があり好調

## セキュリティ・監視

- 海外で販売が堅調に推移



MDF2701W-T



MDF2401W/MDF2401W-T



MDS1901/MDS1901-T

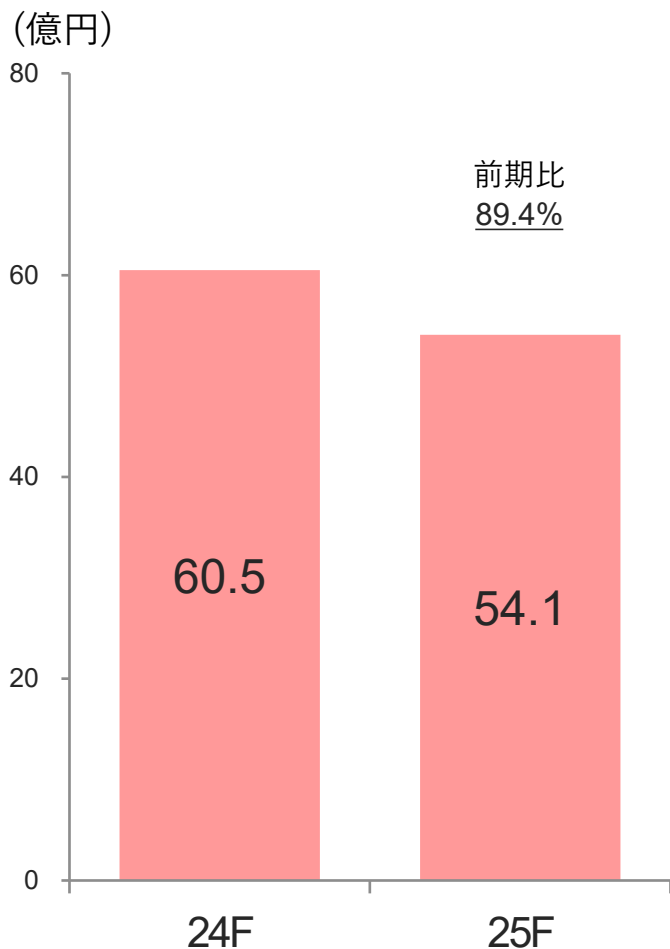
## ディフェンス

- 北米及び日本においてモニターの販売が伸張。米国政府機関の一時閉鎖の影響でグラフィックスボードの販売が後ろ倒しとなり、前期を下回る

## その他

- 日本で各種産業用途向けの販売が堅調

# 市場別売上高：アミューズメント



- 遊技人口の減少と店舗数の減少等による業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

# 連結貸借対照表

(百万円)

	25年3月末	26年3月末	増減
流動資産	80,709	84,776	+4,067
現預金	21,058	20,352	▲705
売掛金等 ※	21,273	22,380	+1,106
棚卸資産	36,664	37,742	+1,077
有形固定資産	24,382	26,321	+1,939
無形固定資産	1,024	836	▲187
投資その他の資産	51,643	65,547	+13,904
資産合計	157,759	177,482	+19,722
流動負債	18,743	21,349	+2,606
短期借入金	4,862	5,502	+639
固定負債	14,659	19,201	+4,541
純資産	124,355	136,930	+12,575
負債純資産合計	157,759	177,482	+19,722

## 棚卸資産

原材料在庫が増加

## 建物及び構築物

新技術棟の建設による  
(2025年4月竣工)

保有株式の売却を進めた一方で  
時価上昇により、  
投資有価証券/繰延税金負債/  
その他有価証券評価差額金が増加

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

# 研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	24F	25F	前期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	67.1	68.6	102.2%
売上高研究開発費率	8.3%	8.4%	+0.1pt.
	24F	25F	前期比
設備投資	44.7	46.6	104.4%
減価償却費	29.3	33.0	112.4%

## 研究開発費

- 研究開発費は、B&P市場向けに新製品を投入したことや、EVS(EIZO Visual Systems)として展開する事業の拡大に向け、増加

## 設備投資

事業成長に向けた投資を継続

- 本社新技術棟(石川県白山市)約29億円  
※2025年4月竣工  
(総投資金額 約52億円)

1. 2026年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

# 2027年3月期 業績の見通し

(百万円)

	25F	26F計画	前期比
売上高	81,308	85,000	104.5%
売上総利益	25,901	27,700	106.9%
売上総利益率	31.9%	32.6%	+0.7pt
販売費及び一般管理費	23,535	24,400	103.7%
営業利益	2,365	3,300	139.5%
営業利益率	2.9%	3.9%	+1.0pt
経常利益	3,772	4,600	121.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,323	6,500	88.8%
為替レート (年平均) :USD	150.67円	160.00円	+9.33円
為替レート (年平均) :EUR	174.64円	175.00円	+0.36円
ROA	2.3%	-	-
ROE	5.6%	-	-

## 2026年5月12日公表

- 欧州経済の停滞は当面継続すると想定。  
B&P及びクリエイティブワーク市場向けの販売は横ばいで推移する見込み
- V&Sは、米国の航空管制用途向けなどの堅調な受注案件があるため販売拡大
- ヘルスケア市場向けは販売が底打ちした海外で事業展開を強化
- 成長投資を実行しつつ、欧州における営業組織体制の再構築及び一部の開発・生産拠点の再編による合理化により、固定費をコントロール
- 政策保有株式の処分に伴い、特別利益として投資有価証券売却益 4,400百万円を計上予定

### 連結営業利益への為替感応度(1円円安による影響額)

- USD：▲80百万円
- EUR：+100百万円

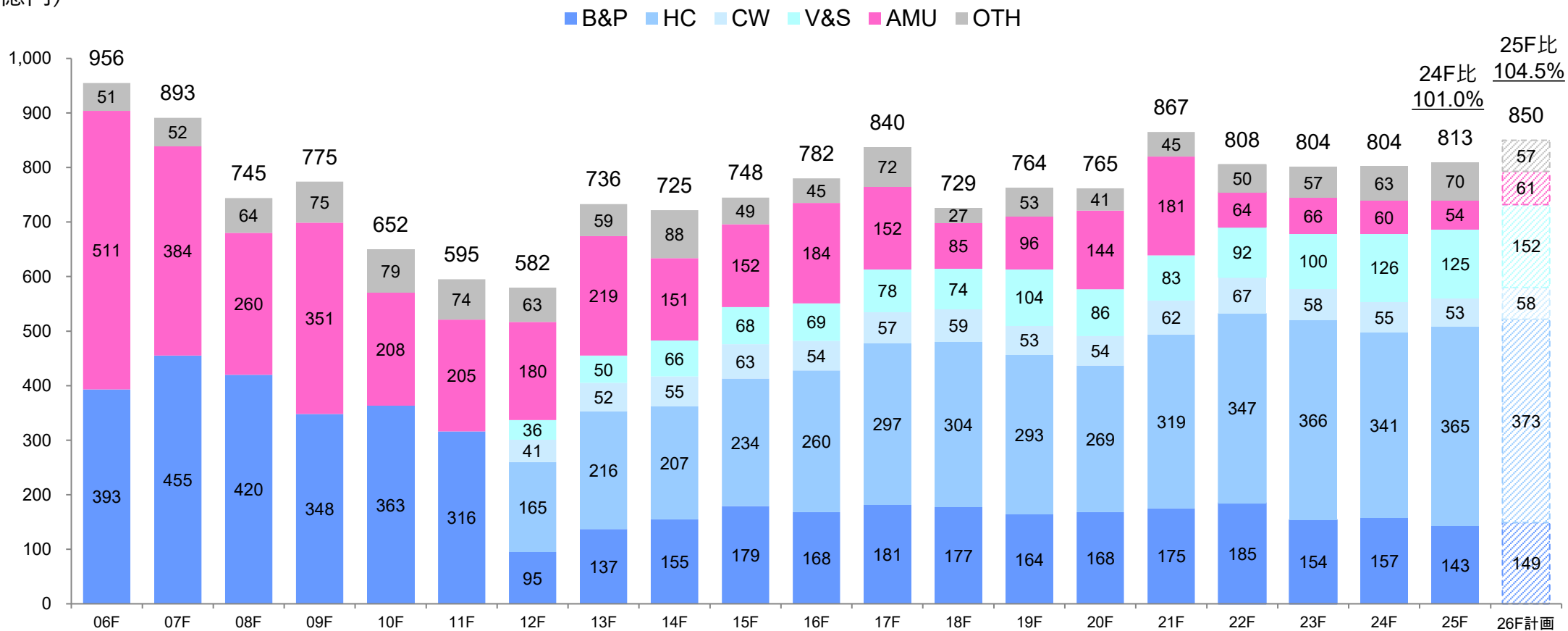
# 市場別売上高予想

(百万円)

	25F	構成比(%)	26F計画	構成比(%)	前期比(%)
B&P (Business & Plus)	14,325	17.6	14,900	17.5	104.0
ヘルスケア	36,578	45.0	37,300	43.9	102.0
クリエイティブワーク	5,342	6.6	5,800	6.8	108.6
V&S (Vertical & Specific)	12,552	15.4	15,200	17.9	121.1
アミューズメント	5,414	6.7	6,100	7.2	112.7
その他	7,094	8.7	5,700	6.7	80.3
合計	81,308	100.0	85,000	100.0	104.5

# 市場別売上高推移

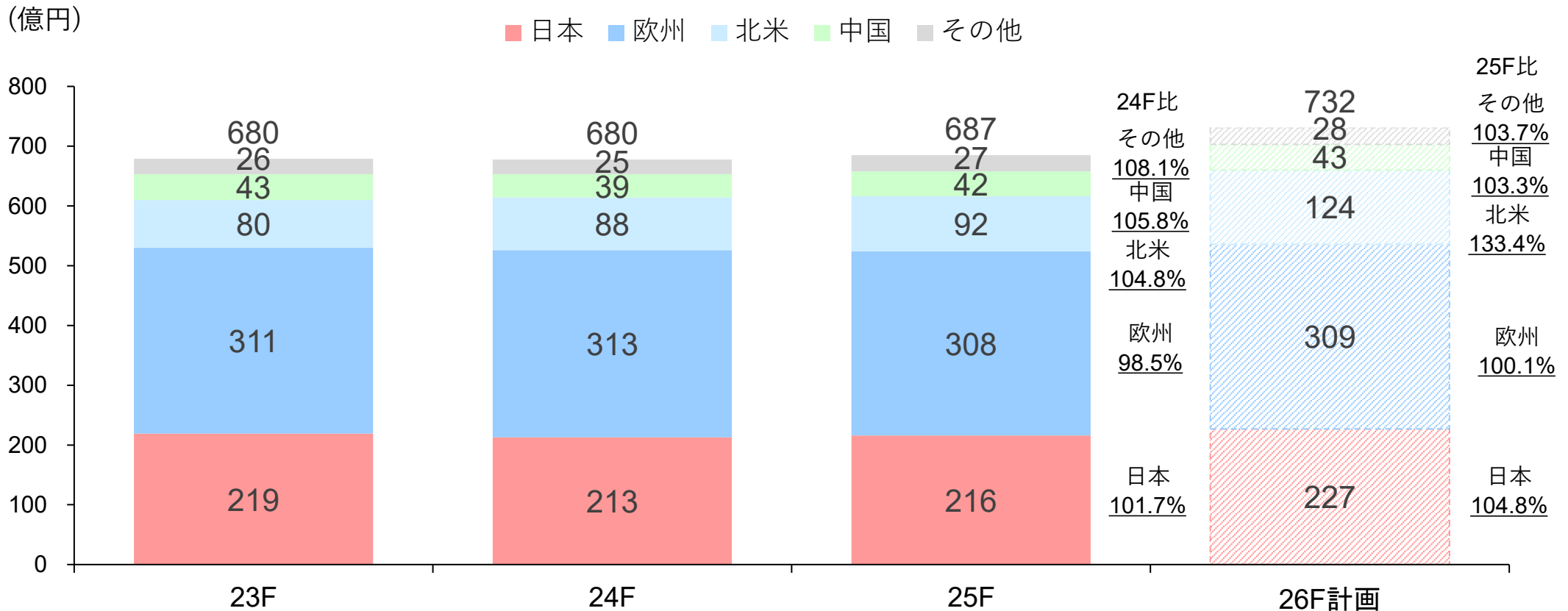
(億円)



映像表示システム: B&P、HC、CW及びV&Sを総称して表示(06F-11F)

# B&P/ヘルスケア/クリエイティブワーク/V&S

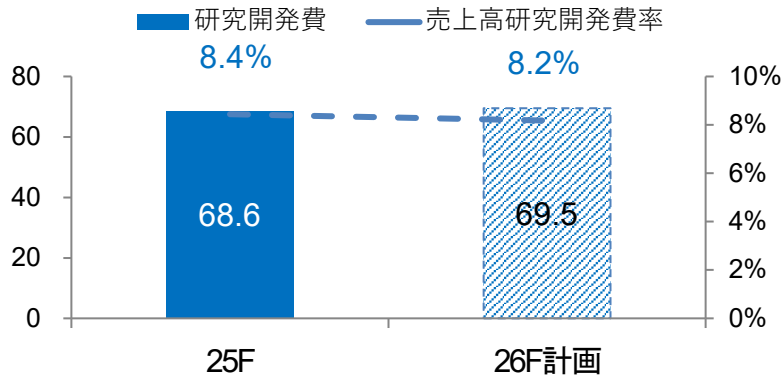
## 地域別売上高推移



# 研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

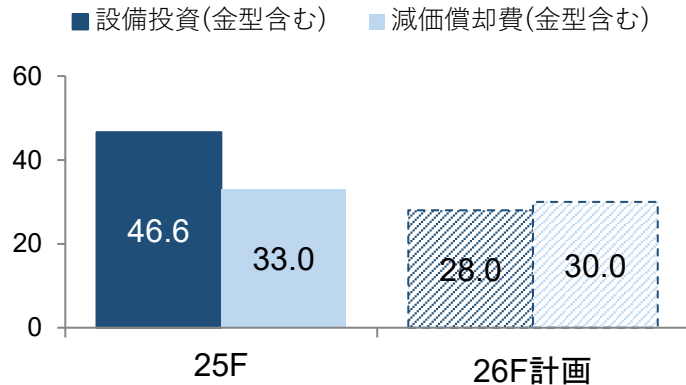
(億円)

研究開発費 ※製造費用計上分を含む



□ 注力分野における研究開発を着実に実行

設備投資 / 減価償却費



□ 大型の設備投資は一巡し、  
設備投資は経常的な水準に戻す。  
事業成長のために必要な投資は継続して実行

# トピック①

## EIZOが参画した無人運航船プロジェクトのコンテナ船が 世界初(※<sup>1</sup>)自動運転レベル4相当(※<sup>2</sup>)での商用運航

日本財団の推進する無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」

→船員の負担軽減、物流安定化、日本の造船・海事産業の競争力強化を狙う

### EIZOの取組み

自動運航の中核であるセンサーフュージョンの実現に向け

- センサーの役割を担う船上カメラシステムの開発
- 画像認識やAIによる自律的な意思決定を支援するための画像処理技術の開発
- カメラと連携した航海記録・映像データベースの構築



内航コンテナ船  
「げんぶ」



旋回台に設置された  
超高感度カメラ  
での船外監視

※1 日本財団調べ（2026年1月時点）。定期貨物航路において、自動運転レベル4相当となる“定常的な実用運航”を開始する事例として世界初となります。

※2 自動運転レベル4相当とは、完全自動運航が一部可能な技術段階。特定エリアや条件下で人の介入不要の完全自動運転のことを指します(船舶の自動運転定義は現在IMO等で議論中。便宜的に自動車の定義を流用)。

# トピック②

## Mini LEDを初採用し視認性を向上した4K手術用モニター 「CuratOR EX3245H」を2026年11月に発売

### ■ 再現性を追求した高画質

- Mini LEDによる高輝度・高コントラスト  
最大輝度 1,900cd/m<sup>2</sup>、コントラスト比 100万：1
- EIZO独自のローカルディミング、バックライト制御  
CW市場向けモニターで培った表示技術が活きる
- 4K解像度やHDRにより、手術顕微鏡や内視鏡、  
手術支援ロボットの4Kカメラ映像を忠実に再現
- オプティカルボンディングにより映り込み抑制

### ■ 柔軟なインターフェース設計

### ■ 衛生管理や設置性への配慮



CuratOR® EX3245H

# トピック③

## 能登半島災害復旧現場において、EIZOと(株)大林組が共同で 3D映像を活用した建機遠隔操縦の実証を実施

安全性と効率性のため遠隔施工が必須となり、  
石川県輪島市(現場)と千葉県君津市(遠隔操縦拠点)を結び無人化施工を実施

### 検証結果

- 3D映像により
  - 奥行き認識向上し作業性向上
  - 俯瞰カメラ設置を省略でき、対応スピード向上
- ストリーミングゲートウェイ技術により長距離でも同期の取れた映像を安定伝送でき、安全性を確保



3D遠隔操作ソリューションを  
実装した建設機械(輪島市)



遠隔操縦の様子(君津市)

# トピック④

## アメリカ海軍の次世代艦上ATCシステム向けに、EIZOの高耐久・堅牢モニター「Talon RGD2802」が正式採用

- 28型2K×2K（2048×2048）の正方形解像度
  - 艦上航空管制や着艦誘導用途の標準解像度
  - レーダー全周表示や高密度情報を一画面で表示可能
- 過酷な艦上環境に対応する高い堅牢性
  - アメリカ国防総省の各種MIL規格試験をクリア
  - 衝撃・振動・電磁干渉が常在する艦上環境でも安定動作を実現
- アメリカ海軍との継続的なパートナーシップ
  - 既存の艦載システムにおけるグラフィックスカードやレーダーソフトウェアの採用実績を背景に選定
  - 海軍向けミッションクリティカル表示分野でのポジションを強化



**Talon RGD2802**

# 資本収益性の向上への取組み

純資産コントロールおよび資産効率性の向上を目的に財務戦略を実施

- 株主還元の強化を継続
- 自己株式の取得
  - 150万株（発行済み株式総数（自己株式除く）の3.79%）/40億円を上限
  - 取得期間：2026年5月25日～2027年4月30日
- 政策保有株式の縮減の前倒し実施
  - 今後3年間（2029年3月期迄）で総額約100億円の売却を計画
- ROEをKPIとした取締役報酬制度の導入（26F中）

次期第9次中期経営計画（26年内公表予定）にて、資本収益性向上に向けた事業および財務戦略一体のロードマップを示す予定

# 株主還元

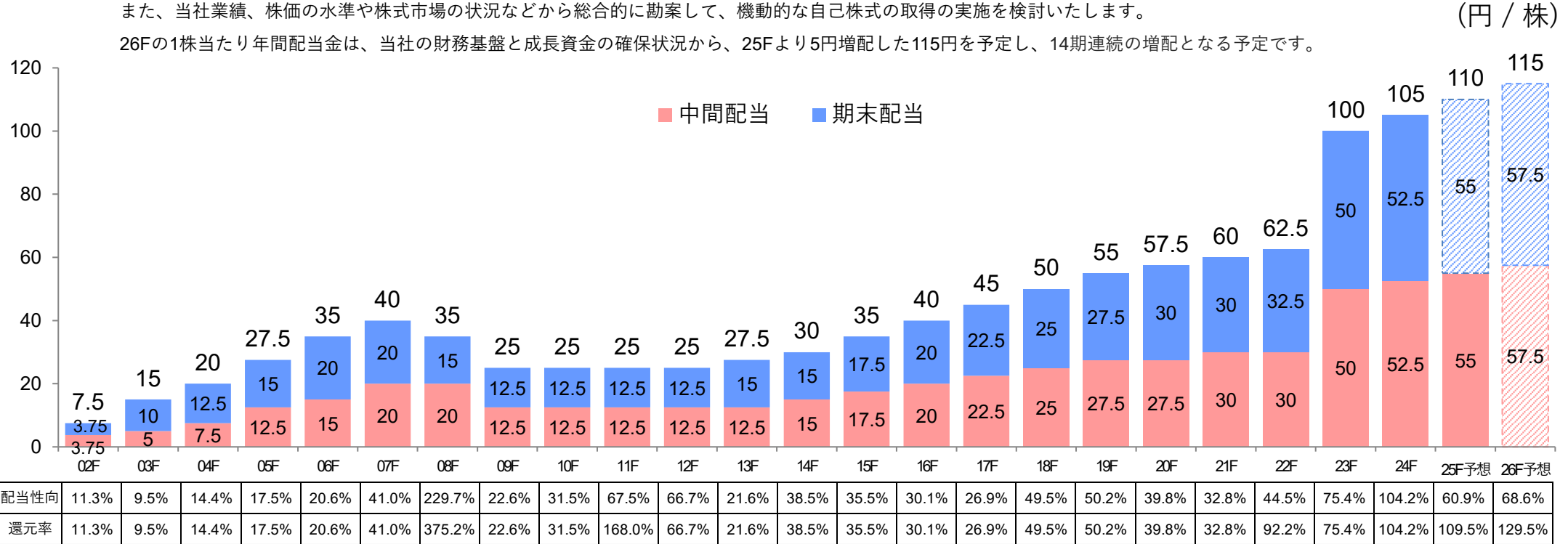
## ●株主還元方針

当社は、予測困難な世界情勢と不確実な事業環境の中、中長期的な成長を支える研究開発は積極的に継続し事業拡大と業績向上を通じて持続的成長を図るとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元を行うことを経営の重要課題と位置付けております。

株主への還元率（総還元性向）の目標水準を連結当期純利益の70%+αとしております。長期的な株主価値の向上に資するため、当社の財務基盤と成長資金の確保状況を鑑み、1株当たり年間配当金は105円（24F）を下限といたします。

また、当社業績、株価の水準や株式市場の状況などから総合的に勘案して、機動的な自己株式の取得の実施を検討いたします。

26Fの1株当たり年間配当金は、当社の財務基盤と成長資金の確保状況から、25Fより5円増配した115円を予定し、14期連続の増配となる予定です。



※25Fの還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 35億円を含みます

※26Fの還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 40億円を含みます

1. 2026年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

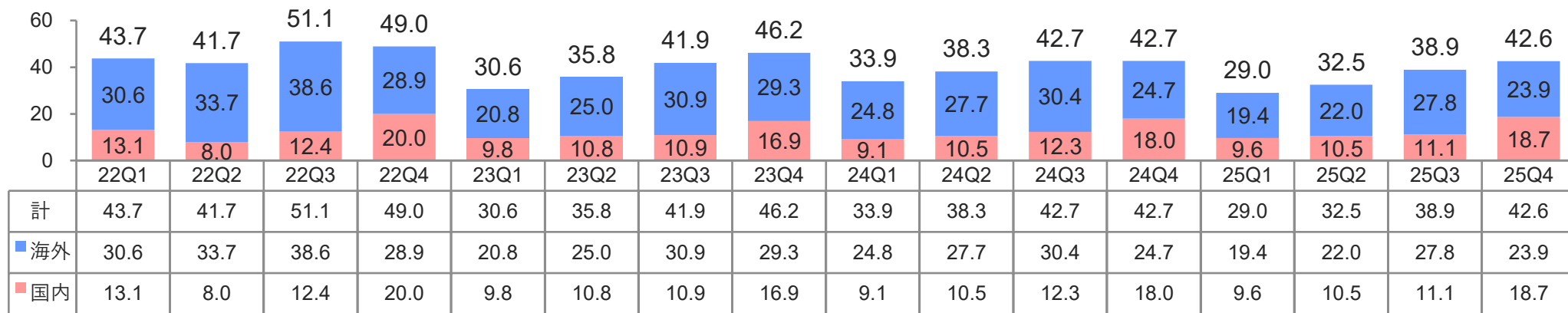
3. 参考資料

# 市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

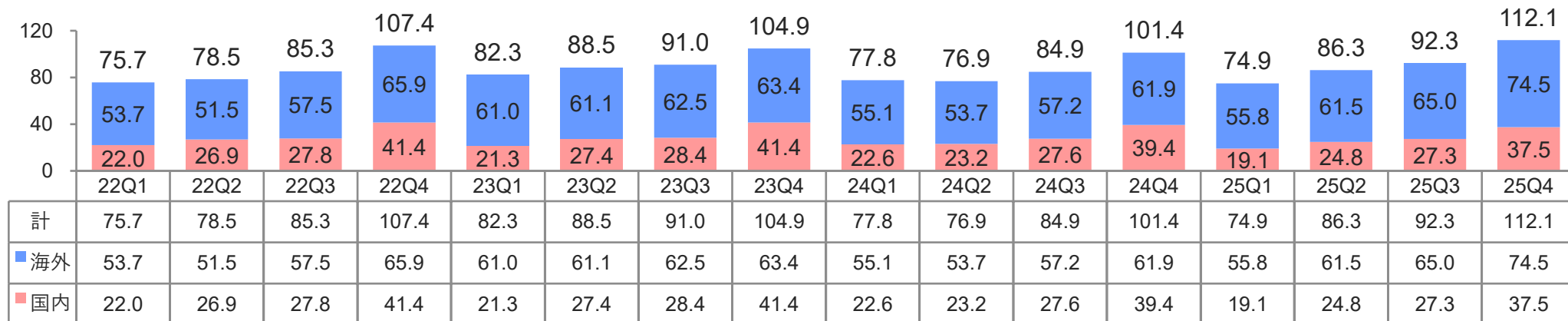
## B&P

■ 国内 ■ 海外



## ヘルスケア

■ 国内 ■ 海外



# 市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

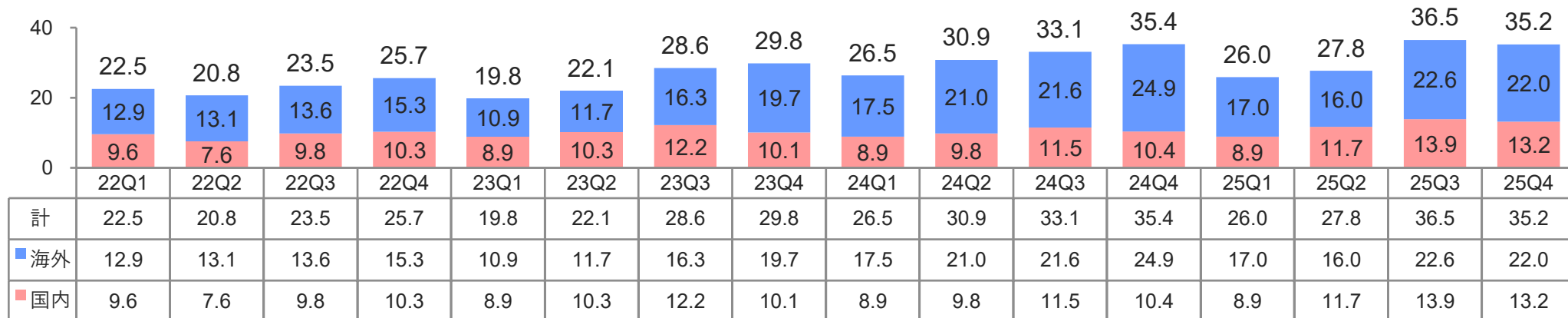
## クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



## V&S

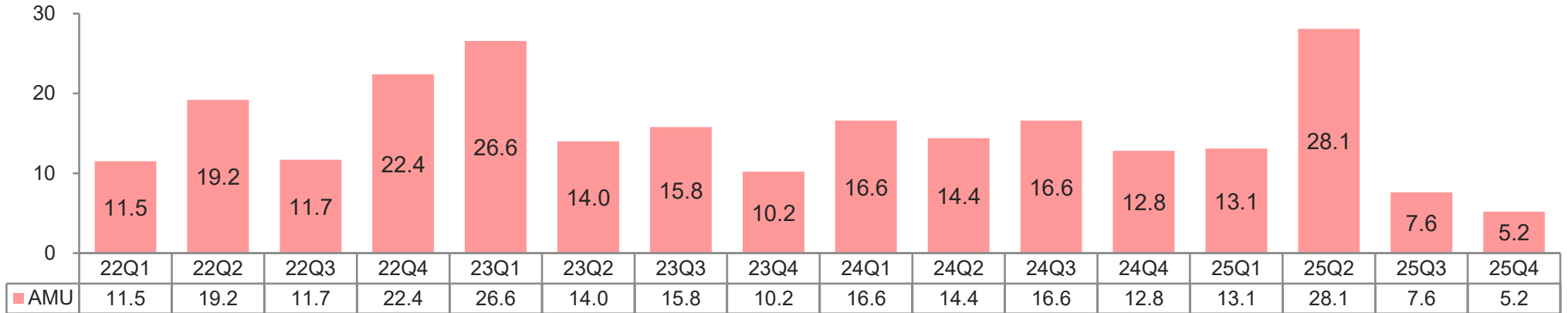
■ 国内 ■ 海外



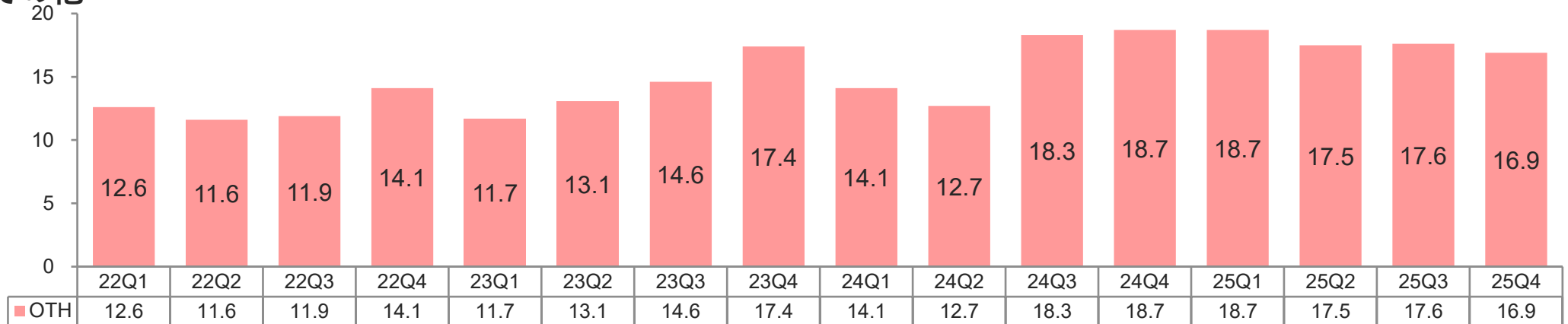
# 市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

## アミューズメント



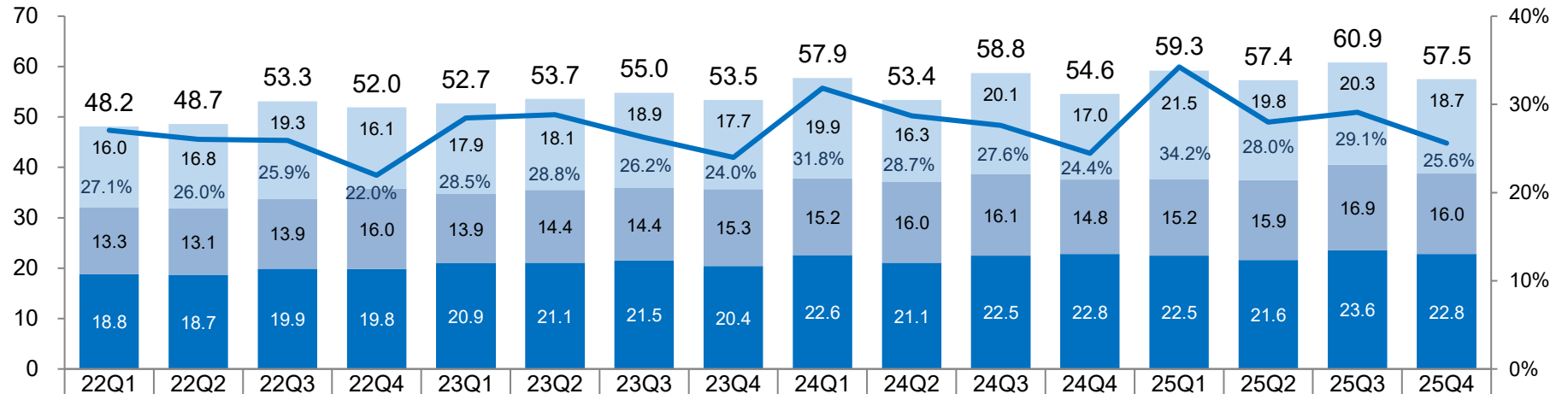
## その他



# 販売費及び一般管理費推移

(億円)

■ 人件費 ■ 研究開発費 ■ その他 — 売上高販管費率



計	48.2	48.7	53.3	52.0	52.7	53.7	55.0	53.5	57.9	53.4	58.8	54.6	59.3	57.4	60.9	57.5
その他	16.0	16.8	19.3	16.1	17.9	18.1	18.9	17.7	19.9	16.3	20.1	17.0	21.5	19.8	20.3	18.7
研究開発費	13.3	13.1	13.9	16.0	13.9	14.4	14.4	15.3	15.2	16.0	16.1	14.8	15.2	15.9	16.9	16.0
人件費	18.8	18.7	19.9	19.8	20.9	21.1	21.5	20.4	22.6	21.1	22.5	22.8	22.5	21.6	23.6	22.8
売上高販管費率	27.1%	26.0%	25.9%	22.0%	28.5%	28.8%	26.2%	24.0%	31.8%	28.7%	27.6%	24.4%	34.2%	28.0%	29.1%	25.6%



Visit us online  
[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)